



歴史資料室 展示資料のご紹介

創立130周年の記念事業として母校に歴史資料室が設置され、数々の貴重な資料が展示・保存されています。先の大戦の戦禍や、戦後の混乱、重なる校舎の移転を経ながら、同窓会員や関係者の努力で保存されたものばかりです。それらの資料をシリーズで紹介してゆきます

今月の資料 新県商・誕生の歴史 オーラルヒストリーより ⑫

わが国最古の商業教育機関である母校も、太平洋戦争の敗戦にともなう教育制度の改革で、旧県商から新県商へ関係者の絶大な尽力で蘇ります。

この経緯が Oral History に纏められていますので紹介してゆきます
(拡大すると見やすくご覧いただけます)

社、重工業、各種販売や製菓業など多種多様な業界からの求人引ききました。入社した頃は、電動式計算機とは始めてはいましたが、高価でまだまだ算盤による計算処理が主流で珠算の能力が必要不可欠でした。幸い私は小学校の頃より珠算を習得しておりそれなりの計算能力がありましたので大いに助かりました。

川本 大学に進学を希望しており、商業科目と同様に受験の為に普通科目にも力を入れなくてはならないと頑張っていました。昭和四十二年と云えば二月に建国の日が制定され、加えて、神戸港開港百年祭に兵庫県庁開設百年記念式典が挙行された年でもあり、日出席きの年の三月、新県商三期生として卒業という人生の節目を迎えたとは、県民の一人にも記念すべき年となりました。

司会者 県商で学んだことが活かされたことをお聞かせ下さい。

坂口 当時のアナログ社会では、業種を問わず算盤による計算処理が、職場に欠かせない基礎能力なので商業学校出身者は非常に有利でした。習得した簿記は、配属部署に於ける経理、金銭処理は勿論のこと、財務諸表の作成、分析を始めあらゆる業務分野で活用することが出来、また、日常に於いては、一般業務処理に存分に活用することが出来ました。

森 現代に至り電子式計算機が普及し、定価になってはいますが、我々が就職した当時は、珠算の能力が有るか無しかに拘らず、各人に算盤が与えられた時代でした。県商で珠算を学んだお蔭でまづつく事もなく、持てる能力を存分に活かすことが出来ました。今日に至っても、自然に頭の中の算盤が勝手に球を弾いて答えを出す習慣が有りなにと便利です。

熊郷 私は就職コースを選び、卒業後、入社先にはタイを打つ部署に配属されていました。ある時、タイを打ながら目が捉えた、他課から送られてきた比較貸借対照表の記載字を何気なく暗算した処、間違いない気づきそれを指摘した処、周りの人から驚くと共に感謝されたこともありま

吉森 神戸商工会議所と税務署の第三セクターに十一年間勤めていました。その時個人事業者に経営指導する必要が生じましたが、県商時代に簿記が嫌いで資格を得ていなかったのであつて、試験勉強を必死で行い、四級二級と順次商工会議所の検定を受けそれぞれなんとか無事合格しましたが、県商で学んでいた簿記の基礎がここで役に立ち感謝しています。

森 入社して経理関係の部署に配属されましたが、簿記の基礎や会計処理手法を習得しているの

直ぐに取り組むことが出来ました。その時県商で簿記を学んで良かった一つ一つを思い出した次第です。

阪上 県商で学んだ三年間は僕の人生にとって大きなウエイトを持っているように思います。具体的に何がどう役立ったかと問われると返答に困りますが、有形無形の形僕のの中に蓄積しているのではないのでしょうか。僕は今年で六十五歳になりますが今まで歩んできた道を振り返ると、「うん、県商で良かったかな」と思っています。

熊ノ郷 私も県商に入学し、県商で学びそして今県商を母校と呼べることに大誇りを持っています。入社以来、営業一筋で来たが、四十歳になって業務が変わり財務諸表を見た時、直ちに理解し分析することが出来ました。県商で習ったことが蘇ったのも知れません。県商で学んだことの価値は言葉もそうですが、先輩、後輩そして同期と幅広く多数の友達を得たこと、更に、神商同窓会の業務を手伝うことにより、志を一にした各年代の方々と親交を得たこと、これが私の人生の大きな宝でも過言ではありません。

川本 伝統がありながら新しい学校づくりの気風に包まれ自由で明るい学校生活を送ることが出来ました。教師という職業を選び、実社会に出てからも生活の基として県商で学んだ生活信条の

七つことからのひとつひとつを大切に活かすようにしたいと思っていました。

荒木 就職先に県商の先輩が多くおられ、会社の中でも最大のグループ県商会に参加することが出来ました。

山本 入社して六年間は勤務関係の部署に所属、それから経理関係部署に移りましたが、金銭に触れる機会が多くなり、金融パールのときには多額の金銭が動き心身が休まらなりました。現在では会計ソフトが発達し、一元管理されるのが非常に便利にはなっていますが、一旦、コンピュータ上にトラブルが起きると取捨がつかなくなります。県商で学んだ会計処理の基本が分かっているから、臨機応変何事にも対処出来るので良かったと思っています。

司会者 学外から見たい県商生の印象ならびに、後輩達に伝えたいことをお聞かせ下さい。

鈴木 今の中学生に希望進学先を聞くと県商の名前が挙ることがあります。県商を受験する目的を聞くと、県商から国公立大学に推薦入学できるチャンスがあるからとのことで、会計科に入つて必要な資格を取得し横浜国立大学に進むという目的もあるのだと云っていました。また、関西大学や立命館大学を目指す生徒もいます。今や、県商が大学に行くためのひとつ